

横浜植物防疫協会からのお知らせ

各 位

横浜植物防疫協会
045-201-2378

お知らせ第 3 3 号を送信します。

【横浜・川崎港における植物の輸入状況(令和 2 年 1 月～令和 2 年 1 2 月、横浜植物防疫協会扱い)】

横浜・川崎港における植物検査対象植物の輸入状況(令和 2 年 1 月～令和 2 年 1 2 月、横浜植物防疫協会扱い)の概要を、以下のとおり取り纏めたのでお知らせします。

1. **輸入数量**：横浜・川崎港における植物検査対象植物（コンテナ詰・在来船積）の輸入数量は、栽植用植物、球根類及び切花類の総数が 99,125 千個(前年比 100.2%)、栽植用種子、生果実類、野菜類、穀類、豆類、油料類、嗜好香辛料類及び乾牧草・飼料類等の総数が 3,582 千トン（前年比 94.4%）、木材は 148 m³(前年比 159.1%) であった。
2. **輸入コンテナ本数**： 71,191van（前年比 97.9%）で、昨年より 1,540van 減少した。内訳は 20F が 28,867van（前年比 98.2%）、40F が 42,324van（前年比 97.6%）で、20F コンテナは 517van 減少、40F コンテナは 1,023van 減少した。
3. **栽植用植物**：41van、297 千個（前年比 112.7%）で、ラン苗の輸入は増加したが、ユッカ、樹木類の輸入が減少した。
4. **栽植用球根類**：88van、27,661 千個（前年比 77.6%）で、ユリ、チューリップ球根の輸入が減少した。
5. **栽植用種子**：335van、4,815 トン（前年比 92.7%）で、普通作物・野菜類種子の輸入が減少した。
6. **切花・切葉・切枝**：308van、71,167 千個（前年比 113.0%）で、カーネーション、レザーファン、ルモーラの輸入が増加した。
7. **生果実**：16,028van、548 千トン（前年比 112.0%）で、オレンジ、グレープフルーツ、レモン等のカンキツ類、アボカド、バナナ、パイナップルの輸入が増加した。
8. **野菜**：4,255van、78 千トン（前年比 86.6%）で、カボチャ、サヤエンドウ、ハクサイ、レタス、ゴボウの輸入は増加したが、メロン、キャベツ、ブロッコリー、タマネギ、ニンジンの輸入は減少した。
9. **穀類**：7,336van、1,097 千トン（前年比 87.2%）で、コメ、オオムギ、トウモロコシ、コムギ、モルト、ソバの輸入が減少した。
10. **豆類**：15,886van、802 千トン（前年比 103.5%）で、ダイズ、エンドウ、ササゲ、ラッカセイの輸入は増加したが、アズキ、インゲン、ソラマメの輸入が減少した。
11. **嗜好香辛料・乾果・薬染料等**：12,913van、246 千トン（前年比 87.6%）で、アーモン

ド、クルミ、漢方薬の輸入が増加したが、コーヒー、カカオ、クリ、ポップコーンの輸入は減少した。

12. 油料・肥飼料等：13,992van、807 千トン（前年比 90.0%）で、ナタネ、乾牧草の輸入が減少した。

13. 輸入木材：9van、148 m³(前年比 159.1%) で、前年より増加した。

以上